

別記

仕 様 書

1. 仕様（規格・種類等）

製品名 自動分析装置 3 5 0 0

方 式	ディスクリット方式多項目同時分析装置
処理能力	吸光度分析 最大 800テスト／時 光散乱分析 最大 800テスト／時 I S E 最大 600テスト／時 HbA1c 最大 200テスト／時（自動溶血機能時） 凝固時間分析 最大 150テスト／時（PT単独）、 110テスト／時（PT・APTT・Fbg）
登録分析項目数	最大134項目（吸光度分析／光散乱分析／凝固時間分析120、 計算項目8、血清情報3、ISE3）
試料容器架設数	ターンテーブル方式110ポジション
検 体 量	吸光度分析／光散乱分析 1.5～35.0μL（0.1 μL ステップ） 凝固時間分析 1.5～53.0μL（0.1 μL ステップ）
サンプルプローブ 詰まり検知	あり（圧力変化検知方式（MTS（マハラリス・タグチシステム）法使用時））
試薬ショット数	最大3ショット
試薬分注量	吸光度分析／光散乱分析／HbA1c 20～270μL（1 μL ステップ） 凝固時間分析 25～75μL（1 μL ステップ）
試薬ボトル架設数	試薬ディスク1、2ともに最大45ポジション（洗剤ボトル含む）、 全試薬保冷
反応液量 （測光必要量として）	吸光度分析 100～300μL 光散乱分析 200～300μL 凝固時間分析 75～110μL
反応セル	吸光度分析／光散乱分析：プラスチック製セミディスポーザブル
反応容器	凝固時間分析：プラスチック製セミディスポーザブル
反応時間	吸光度分析 3、4、5、6、7、8、9、10分 光散乱分析 4、5、6、7、8、9、10分

	凝固時間分析 最長 5 分（1 分ごとに設定可能）
測定波長	吸光度分析 1 2 波長（340.405.450.480.505.546.570.600.660.700.750.800nm） 光散乱分析／凝固時間分析 1 波長（700nm）（LED 光源）
測定法	吸光度分析：2 波長測光または 1 波長測光 光散乱分析／凝固時間分析：1 波長測光
操作部ディスプレイ	17 型液晶タッチパネル
外形寸法・質量	分析部（操作部を含む） 1,960（幅）×840（奥行き）×1,240（高さ）mm・約 500kg

自動分析装置は、株式会社日立ハイテク社製のものとする。

製品名 生化学自動分析装置用 純水製造装置 ミニクリア MRA-0100SG-021

流量（50/60Hz）	300／360ℓ／h
水圧（運転時）	0.15～0.35MPa
水温	5～35℃
原水種類	水道水
SDI	4以下
全硬度	50mg／ℓ as CaCO ₃
シリカ	30mg／ℓ as CaCO ₃
残留塩素	1mg／ℓ as Cl ₂
採水純水流量	100ℓ／h（1.7ℓ／min）at10℃
採水水質	1μS／cm
外形寸法	W350×D639×H1,142mm
運転質量	100kg
電源	AC100V±10%
消費電力	500VA
純水タンク容量	20ℓ

生化学自動分析装置用 純水製造装置は、オルガノ株式会社製のものとする。

製品名 統合型臨床検査システム L a v o l u t e 8

機 能	
受付業務	依頼属性入力
分析業務	分析条件設定 自動ワークシート 用手ワークシート
入力業務	項目別結果入力 受付別結果入力 尿沈渣入力 血液像入力
確認業務	データチェックモニター 未検査チェックリスト
報告業務	報告書 検査台帳 検査件数表 進捗状況モニター
問合せ業務	問合せ条件入力 時系列モニター
精度管理業務	精度管理結果入力 精度管理表／ $\bar{x}$ - R 管理図 X - R s 管理図／ $\bar{x}$ - R s - R 管理図 C u s u m 管理図 T w i n P l o t 図 プラスマイナス管理図法 基準値平均法 ヒストグラム付き箱ひげ図 R O C 曲線 前回値チェック評価
その他業務	バーコードラベル発行 検査データ外部出力 検査項目モニター 外注検査処理
マスターメンテナンス	帳票定義マスター マスター世代管理

	ログインユーザマスターメンテナンス (他 3 5 種類のマスターメンテナンス機能)
前提環境	
対応OS	Windows Server 2012 Windows 8 (64bitのみ)
対応DB	Oracle Database 12c

統合型臨床検査システムは、株式会社日立ソリューションズ社製のものとする。

2. 数量 各1台

3. 受渡条件

美里町立南郷病院内の指定した箇所に納品し、本物品の使用方法や注意事項などを職員に詳細に説明をする。納品に必要な運搬費用及び据付費用はすべて受注者が負担する。

上記の装置（以下「新装置」という。）と美里町立南郷病院で現在使用している生化学自動分析装置（以下「旧装置」という。）は2週間程度の並行稼働期間を設けるものとし、当該並行稼働及び新装置の稼働に必要な電源確保のための費用は受注者が負担する。

並行稼働期間終了後の旧装置の処分費用は受注者が負担する。

4. 仕様基準・品質保証

(1) 物品の仕様基準は、次の各号のいずれかに準拠していなければならない。

- ① 規格、標準、各種資料及びこれらに準ずる書類で発注者が作成し、受注者に貸与したもの
- ② J I S等の公に定められた規格。ただし、公に定められた規格と前項の書類との間に不一致がある場合は、前項の書類が優先する。
- ③ 法令又は条例に定められた基準
- ④ 前各号のほか、発注者と受注者が協議の上定めた基準

(2) 受注者は、物品が前項に定める仕様に合致しており、かつ発注者の満足する品質及び性能を備えることを保証する。

5. その他

本仕様書に記載されていない事項については、発注者と受注者で協議の上決定する。